

就任のご挨拶

副校長 塩見 晃之
Shiomi Teruyuki



4月1日付けで京都外大西高等学校へ着任いたしました塩見晃之です。

私は、3月31日まで京都市立の中学校に勤めており、退職を機にこちらの高校へお世話になることとなりました。これまでは、京都外大西高等学校をはじめとする高校へ送る側でありましたが、迎え入れる側となり大人になろうとする高校生という重要な成長時期の生徒たちに関わる機会を得ましたことに心新たに組みんでいく所存です。

さて皆様は、「VUCA（ブーカ）の時代」という言葉をご存じでしょうか。「VUCA」とは Volatility（変動制）、Uncertainty（不確実性）、Complexity（複雑性）、Ambiguity（曖昧性）の単語の頭文字をとった言葉で「将来を予測するのが困難な時代」を示します。

まさに、現代は「VUCAの時代」であり、その時代を生き抜いていくであろう高校生には「想定外のことが起きることを前提に、何が起きているか正しく把握し、それに対応できるように素早く意思決定し行動する力」を身につけることが求められています。そのためには「情報収集力・状況把握力（課題発見力）」「意思決定力・実行力（課題解決力）」のスキルが必要となります。

京都外大西高等学校では、これらの力を各コースの特徴を活用しながら、教科横断的な視点での教科授業や放課後の部活動を通して育成していきたく考えております。

来年の10月にはいよいよ新校舎も完成し、教育環境もさらに充実します。今後の京都外大西高等学校に大いに期待いただきますようお願い申し上げます。